

令和2年10月3日（土）と10月17日（土）の定期練習会の様子です。

10月3日の定期練習会の参加人数は43人で、小学生・中学生・高校生の参加も多く見られ、白石島からの参加者も多く賑やかな雰囲気練習が始められました。

今回、大正大学地域創生学部の浦崎太郎教授が見学にお越しくださいました。高校－大学－地域が連携する人材育成モデルを多角的な視野から調査研究なさっている先生です。白石踊会笠岡支部会員である高校生が初めて白石踊について岡山大学のシンポジウムで発表したときに傾聴くださり、それ以来、高校生による白石踊の継承活動に着目くださっています。全員でのブラブラ踊りを見ていただき、「これほど活気があり、多くの若い人たちが参加しているのは、白石踊が後世に受け継いでいきたいと思える魅力を持っているからだ。」とコメントをいただきました。

その後は各踊りに分かれての練習をしました。新しく別の踊りに挑戦する人が多く、先輩方の手足の動きを真剣に目で追いながら踊っており、休憩時間にもアドバイスをもらっている人もいました。



10月17日も白石島から多くの参加者がありました。

今年、笠岡市と島根県大田市が友好都市縁組を結んで30周年を迎えます。11月21日（土）には大田市から訪問団を迎えて式典を行い、記念公演として日本遺産の大田市石見神楽社中を招聘して公演を行います。併せて、笠岡市の白石踊も同時公演しますので、熱のこもった練習になりました。



白石踊会笠岡支部からのお知らせ

次回の定期練習会は、令和2年11月7日（土）19：00～20：30

令和2年11月14日（土）19：00～20：30

笠岡市中央公民館（笠岡市笠岡 1866-1）で行います。無料。

通常は第1と第3土曜日に開催していますが、11月は第1と第2土曜日ですのでご注意ください。

新型コロナウイルス感染症の社会状況によっては急な中止もあり得ますので、ご承知おきください。

マスク着用でご参加ください。体調のすぐれない場合はご遠慮ください。